

授業科目名	人間教育学ゼミナール（基礎）(2100309)		
時間割名	人間教育学ゼミナール（基礎）(35109)		
時間割担当	松田智子		
実施期	通年	単位数	4 選択
曜日・時限	水・5		

授業の目標・概要

人間教育学として、自らが深めていきたい専門領域を決め、基礎科目ゼミナールで身につけたアカデミックスキルを駆使し、専門分野の文献や論文によって見識を深めていきます。必要に応じて、実習や地域交流などを行い、主体的に自らの専門性を深めていきます。

本ゼミナールでは、自分が興味関心あることを、見つける。そのために教育に関する広範な読書を行い、グループで意見を交換するなどの交流を行う。また自分の進路に合わせて、基本的な知識を獲得するための調査を行う。

学習の到達目標

社会人としての常識や教職に就くものとしての、レポートや報告書を書くことができる。討議等をする際に、論理的な話し方の基本を身に着ける。

授業方法・形式

- ・課題となる指定された本や新聞記事等を読んで意見を交流する。
- ・交流の後、自分の意見を1000字程度のレポートにまとめる

授業計画

1. オリエンテーション
2. 基本的なレポートの書き方について学ぶ
3. 基本的なレポートの買い方について学ぶ
4. 基本的なレポートの書き方について学ぶ
5. 教員から与えられた課題で1000字のレポートを作成する
6. 前回書いたレポートを校正し、実践的にレポートの書き方を学ぶ
7. 教員から与えられた課題で1000字のレポートを作成する
8. 前回作成したレポートを構成し修正してレポートの完成度を高める
9. 現代の教育課題を自分で選び、それについて意見を各自が5分で述べ交流する
10. 意見を発表する際の、論理的な話し方を学ぶ
11. 意見を述べる際の論理的な話し方を学ぶ
12. 意見を述べる際の論理的な話し方を学ぶ
13. 反対の意見を述べる際の、基本的な約束事を知る
14. 賛成の意見を述べる際の、基本的な約束事を知る
15. テーマを決めて討論をする（教師のかんがえたテーマ）
16. 学生からテーマを提供して論議する、そして振り返りを行う
17. 学生からテーマを提供して論議する、そして各自で振り返りを行う
18. 学生からテーマを提供して論議する、そして各自で振り返りを行う
19. 学生からテーマを提供して論議する、そして各自で振り返りを行う
20. 学生からテーマを提供して論議する、そして各自で振り返りを行う
21. 学生からテーマを提供して論議する、そして各自で振り返りを行う
22. 学生からテーマを提供して論議する、そして各自で振り返りを行う
23. 人間関係づくりの著書を指定して輪読を行う
24. 人間関係づくりの著書を指定して輪読を行う
25. 人間関係づくりの著書を指定して輪読を行う
26. 人間関係づくりの著書を指定して輪読を行う
27. 人間関係づくりの著書を指定して輪読を行う
28. 専門ゼミの応用でやりたいことを考える
29. 専門ゼミでやりたいことを発表する
30. まとめ

成績評価の基準

- ・毎回のレポートや振り返りと参加態度

授業時間外の課題

- ・前の授業で指定する

メッセージ

- ・自分の意見を論理的に話せたり、書けるようになることが社会人の基礎です

教材・教科書

- ・毎回指定するか、教師が配布する

参考書

- ・教員が指定したもの